

分野	授業科目	単位（時間）	開講年次	講師名
基礎分野	文学	1（30）	1年後期	西村 るり 徳岡 涼 (実務経験あり)
科目目標	文章作成技法について学びつつ、文章における基礎的な教養を身につけることを目的とする。なお、後半は、人の心の琴線に触れる文学作品を学ぶ。授業は、講義形式だが、受講者には、新聞要約・レポート、リアクションペーパーが課せられる。			
授業内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 聞く・話す・読む・書く の言語活動の相互作用について理解する。 2. 看護に必要な哲学的命題を内包した文章に触れる。 3. 聞きながら読み、理解し、思索し、内言により自分の思想を持つ。 4. 自分の内言を外言として表現し、ディスカッションする。 5. 内言と外言を総合して、文章として書き表す。 6. 文章として客観的に現れた自分の思想を内観する。 7. 生涯に渡って自分を支える看護観の確立を目指す。 8. 文学作品を通して、人間の物の見方・考え方の多様性を知る。 また、人間の感情・心理、あるいは、人間関係の有様について学び、看護に必要な感性や、情操を育む。 <p>*教材は、人間の普遍性を考え、人間の理解に繋がる内容の物を教材とする。既に、義務教育期間に学んできたものに加え、特定の作者のものを継続して読解する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 9. リアクションペーパーと最終試験 	時間	教育方法	担当者
		14	講義 グループ ワーク	西村
		14	講義	徳岡
		2	試験・講義	徳岡
テキスト/参考書/視聴覚/その他の教材	西村：担当者の作成したレジュメ・詩・小説・ノンフィクション等の文章及び原稿用紙 徳岡：担当者の準備した文学作品のコピーとリアクションペーパー			
成績評価の方法	レポート・筆記試験・リアクションペーパー100点（西村50点、徳岡50点）より総合的に評価			
備考				